

事務事業評価表

○基礎情報

課名		青少年課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	6	思いやりの心とたくましく生きぬく力を育てる	岡本 隆司	管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				4 人	8 人	2 人	12 人	3 人	22.45 人	1,235 時間	12.9 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H28年度	H29年度	H30年度
小学校ふれあいプラザ利用者数	36,355人	40,000人	36,355人	34,270人	34,627人
小学校ふれあいプラザ開設校数	18校	19校	18校	18校	18校
青少年会館の利用者数	153,116人	110,000人	153,116人	146,160人	124,970人

(施策のねらい)

1	青少年育成の推進
2	子どもたちの居場所づくり
3	0
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める  
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない  
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(平成30年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)											Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H29予算(円) H29決算(円)	H30予算(円) H30決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生まれた成果・効果) (対象) (手段・方法)	事務事業の指標	H30目標値	H30実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設整備事業	1	0.46	一般繰越	369,000,000 153,328,400	1,279,828,000 1,240,519,600	茅ヶ崎公園内に世代間交流の場として新たな機能を備えた体験学習施設を整備し、1月にオープンした。オープン後、3か月間ではあるが、多世代の方々が来館されている。	整備目標	工事完了 開館	工事完了 開館	S	増加		
2	茅ヶ崎ゆかりの宇宙飛行士関連事業 (仮称)宇宙まつり及び宇宙記念日関連事業)	1	0.68	一般	1,000,000 658,940	899,000 375,150	子どもをはじめ、広く市民の方を対象に宇宙教室体験コーナー、講演会、プラネタリウム鑑賞等による「宇宙まつり」を開催し、宇宙への夢や希望を育むきっかけとなった。 (参加:344名)8月9日に予定していた宇宙記念日関連事業、長野県佐久市への「星空バスツアー」は、台風接近により中止となった。	宇宙記念日関連事業の開催回数	1回	1回	S	変動なし		
3	小学校ふれあいプラザ事業	2	0.63	一般	18,046,000 15,672,807	20,827,000 17,165,639	放課後に小学校の体育館等を開放することにより、安全安心な居場所を確保するとともに異年齢間児童の交流や地域との交流を図ることができた。また、学習支援を開始し、居場所の多様化を図ることができた。	年間参加人数 実施校数	37,000人 19校	34,627人 18校	S	増加		

4	子どもの安全を守る都市の推進	1	0.50	一般	1,445,000 1,342,112	1,424,000 1,308,395	子どもの安全を守るため、青少年育成団体等と街頭キャンペーンなどを行い、子どもが犯罪や事故に巻き込まれることがないよう啓発活動ができた。	子どもの安全活動に係る支援学区数	19学区	19学区	S	変動なし		
5	インターネット有害情報監視事業	1	0.56	一般	1,318,000 1,300,084	1,187,000 1,166,388	市内の小・中学生を対象にインターネット上の書き込み等を検索し、学校と密に情報共有を図ったことにより、児童・生徒への指導や声掛けに結びつき、課題解決の糸口となった。	小・中学校に係るインターネット上の検案件数	4,500件/月	3,673件/月	S	変動なし		
6	主催事業の開催(青少年会館)	2	2.46	一般	646,000 621,600	646,000 461,405	青少年会館フェスタ、体験学習、物作り、自然観察等の様々な自主事業のほか、施設開放、地域交流事業等を実施し、青少年の健全育成に貢献できた。	主催事業の開催回数	80事業	69事業(参加者数: 延べ 25,661人)	S	変動なし		
7	主催事業の開催(海岸青少年会館)	2	1.46	一般	987,000 957,690	670,000 668,933	青少年の健全育成につながる多様な体験学習等の事業を実施し、成果をだすとともに、体験学習センターの事業展開につなげることができた。	主催事業の開催回数	40事業	40事業(参加者数: 延べ 29,387人)	S	増加		
8	(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設運営業務	2	1.26	一般	- -	402,000 369,759	青少年及び多世代を対象とした多様な体験学習等の事業を開催し、学習や体験活動の場を提供するとともに、多世代交流を図ることができた。	自主事業の開催回数	13事業	18事業(参加者数: 延べ 2,716人)	S	-		
9	自然体験教室の開催	1	0.36	一般	448,000 447,751	883,000 628,022	子ども会に入会している小学生が中学進学後、ジュニアリーダーとして活動できるような教室を実施し、地域活動におけるリーダー養成のきっかけとなった。	参加満足度	80.0%	1回目 93.85% (参加者数:27人) 2回目 86.5% (参加者数:19人)	S	減少		
10	青少年育成のつどいの開催	1	0.38	一般	406,000 310,000	385,000 294,062	広く市民の方を対象とし、講演会を実施することにより、青少年健全育成事業の周知が図られ、青少年育成活動の活性化につながった。	青少年育成のつどい開催時期	30年度12月	平成31年1月 (参加者数:135人)	S	変動なし		
11	茅ヶ崎ゆかりの宇宙飛行士関連事業(宇宙飛行士展示コーナー関連事業費)	1	0.54	一般	4,579,000 4,412,679	3,784,000 3,637,596	ちがさき宇宙フォーラムをはじめ、民間団体や企業の協力を得ながら6月「宇宙まつり」、8月「天体観測」、12月「金属花火作りとロケット燃料」、3月「実験と体験から学ぶ真空の不思議な世界2」を実施し、次世代を担う子どもたち等多くの市民に宇宙や科学に関する興味や夢を育むことができた。	宇宙教室開催回数	4回	4回 (参加者数: 延べ722人)	S	変動なし		
12	海岸青少年会館移転事業	2	0.28	一般	6,847,000 6,846,252	6,847,000 6,846,252	海岸青少年会館解体から複合施設開館までの間、代替え施設を運営し、青少年の居場所や体験学習の拠点として、効果を上げることができた。	会館仮設棟の賃貸借期間	会館仮設棟の運営・解体	会館仮設棟の運営・解体	S	変動なし		
13	子ども会育成事業	1	0.27	一般	76,000 75,899	85,000 78,498	市子ども会連絡協議会加入の子ども会会員が一堂に会し、ドッチビー大会を通して、他地区の子どもと多世代交流し、子ども会活動の活性化を図ることができた。	子ども会交流事業への参加子ども会数及び児童数	25単子 170人	21単子 94人	C	変動なし		
14	子どもの家の管理業務委託	2	0.11	一般	22,577,000 22,486,000	23,081,000 23,043,000	子どもの家を適切に管理するため、指定管理者へ管理業務を委託し、管理状況のモニタリング等を実施し、子どもたちが安全安心に遊べる場所を提供することができた。	利用者数(年間)	39,000人	37,856人	S	変動なし		
15	ジュニアリーダー養成講座の開催	1	0.19	一般	99,000 98,105	94,000 74,456	子ども会の活動等地域の行事で、主に小学生に対し、ゲームや野外活動の指導を行う青少年リーダーを養成し、地域活動を担う人材の育成に努め、青少年リーダーとして活動するきっかけづくりができた。	ジュニアリーダー養成講座開催数	年間4回	年間6回 (参加者数: 延べ68人)	S	変動なし		



3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析 (Check) / 今後の展望 (Action)

青少年課の平成30年度の政策的事業数は23事業である。これらの事業の評価結果を見ると、「S」が22事業、「C」が1事業である。  
職員の時間外勤務は総時間で1,235時間であり、前年度の総時間1,215時間と比べ、若干増加している。これは茅ヶ崎公園体験学習センターが平成31年1月に開館したこと等による事務量の増加が要因として考えられる。  
事業の指標について、80%に満たなかった事業として、子ども会育成事業については、例年夏休み中に事業を実施しており、年度当初は8月に事業実施の予定としていたが、猛暑による影響を鑑み、春休みに時期をずらして実施することとした影響や、子ども会に加入する子どもや単位子ども会そのものが減少していることが原因として考えられる。事業の実施にあたっては、4月から1年生となる未就学児の参加を受け入れる等の工夫をしたが、目標値には届かなかった。令和元年度以降は秋休みに事業実施する方向で調整を進めている。  
項番6自主事業の開催(青少年会館)については、多様な特色のある活動と異年齢・異世代の交流事業を優先して開催し、殆どの事業で定員を満たす結果となった。事業実施にあたっては、外部講師を呼ぶのではなく、なるべく社会教育嘱託員等の講師で実施し、事業費が削減できた。(参加者数:延べ 25,661人)  
項番1及び8の事業について、茅ヶ崎公園体験学習センターでは、子どもから高齢者までが楽しく学び多世代が交流できる施設を目的に、平成31年1月5日にオープンしたが、出入り口やフリースペースが多く、いつでもだれでも出入りできる広場が隣接しているため、安全管理に非常に苦慮している。自由度の高い施設として建設されているが、限られた職員・社会教育嘱託員数(1日4～5人のシフト、夜間は2名の臨時職員)で、1時間単位の貸出の部屋が21あり、その他、学習室や娯楽室(囲碁・将棋)、及び広場の安全管理のため、常に目を向けている状況が続いている。子どもと高齢者、障害者の方たちの交流がうまく育まれることを期待するが、施設内を走り回る子どもと高齢者が接触したり、強く蹴ったサッカーボールが、幼児や高齢者に当たるなどの危険な場面があり、現在は、地域団体、小・中学校などとも連携した取り組みができるよう情報交換等を行っている。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は - )	事務改善の内容
5	インターネット有害情報監視事業	これまで本事業用にパソコンとインターネット接続用回線を契約していたが、庁内LANでのインターネット接続環境が変更となったため、パソコン、インターネット接続用回線を解約し、庁内LAN接続パソコンによる業務に切り替えることにより、パソコンの使用料及びインターネット接続用回線使用料の削減を図っていく。

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は - )	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	第4次実施計画策定時に、適正に検討し選択した政策的事業であり、改めて、有効性・主体性(市が実施するべき事業)・効率性等について検証を行った結果、休・廃止を検討するべき事務事業はないとの結論となったため。

6 働きかたの見直しにおける取り組み結果(28-30年度の3か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

取り組みの結果
ファイルサーバの運用ルールを定めたことにより、担当者それぞれがデータの利用目的を考えながら、フォルダ作成、データ保存を行うようになる等、意識の変化がみられるようになった。